

# 会 議 録

<b>会議名</b> (付属機関等名)	平成27年度 第2回丹波市スポーツ推進審議会		
<b>事務局</b> (担当課)	まちづくり部 文化・スポーツ課 スポーツ推進係		
<b>開催日時</b>	平成27年6月29日(月) 午後7時半～午後9時半		
<b>開催場所</b>	丹波市立春日住民センター 大会議室		
<b>出席者</b>	<b>委員</b>	出席委員： 篠倉 義弘、中村 健治、酒井 美孝、山内 佳子、 中川 優一、高橋典子、大下 亨、奥田通子、 足立 はるみ、吉見 直人、松原 靖代	
	<b>指導者</b>	兵庫教育大学大学院准教授 森田 啓之	
	<b>事務局</b>	まちづくり部 部長 上本 善一 まちづくり部 文化・スポーツ課 課長 長奥 喜和 まちづくり部 文化・スポーツ課 スポーツ推進係長 谷水 仁 まちづくり部 文化・スポーツ課 スポーツ推進係 金子日吉 まちづくり部 文化・スポーツ課 スポーツ推進係 柿渕康之 健康部 健康課 保健師 谷川靖史	
<b>傍聴の可否</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	<b>傍聴者数</b>	0人
<b>傍聴不可・一部不可の場合は、その理由</b>			
<b>会議次第</b>	<b>議 題</b> (1) 丹波市スポーツ推進計画(素案)について ① 第1章～第3章の修正について ② 第4章～第5章の概要について		
<b>会議結果</b>	(1) 審議経過のとおり		

## 審 議 経 過

事務局	<p>皆さんこんばんは。夜分お疲れのところ、ご出席いただきありがとうございます。ただいまから、平成27年度第2回丹波市スポーツ推進審議会を開会します。本審議会は原則公開で開催します。また、この会議は会議録作成のため録音をさせていただきます。</p> <p>ここで、今回より健康部健康課より保健師に事務局に加わっていただいておりますので、ご紹介させていただきます。</p>
保健師	<p>皆さんこんばんは。健康部健康課で運動指導を担当しております、保健師の谷川といいます。健康運動指導士の資格も持っており、様々な指導をしております。健康部門とスポーツは、切り離せないものだと思いますので、今回から参加させていただきます。宜しくお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、会長よりご挨拶をいただき、以降、副会長に進行をお願いします。</p> <p><b>【会長あいさつ】</b></p>
会長	<p>皆さんこんばんは。今日はいきなり暑くなり、天候不順により体のコントロールがなかなかできない状況もあるかと思えます。皆さんも十分健康には注意していただきたいと思えます。</p> <p>さて、このスポーツ推進審議会では、どうしたら市民の皆さんと健康寿命日本一を達成できるか、ということを考えていかなければならないと思えます。健康課と併に進んでいくことが必要だと考え、参加をお願いしたいと思っていただきたところ、快く受けていただきました。</p> <p>自分の体は自分で守っていくという自立を促すことも、私たちの重要な責務だと思います。丹波市でも高齢化・過疎化が今後ますます進んでいきますので、本人が自覚を持って自分の体を管理していくことのできる体制や、スポーツに持続して取り組むことのできる体制を、いかにして作っていくかということに尽きると思えます。</p> <p>今回も皆さんからご意見をいただき、良い方針を作っていきたいと思えますので、よろしく願いいたします。</p> <p><b>【報告事項】</b></p>
副会長	<p>それでは報告事項に入ります。第1回丹波市スポーツ推進審議会会議録について、事務局より報告お願いいたします。</p>
事務局	<p>第1回丹波市スポーツ推進審議会会議録については、6月21日に内容確認のため、本日の審議会の資料とともに、委員の皆さまにお送りし、ご確認いただいているところです。本日まで修正等のご連絡を事務局の方からいただいておりますので、今後会議録を丹波市のホームページに、委員の皆さまの名前を消して公開させていただくことをご</p>

	<p>了承いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p><b>【議事】</b></p>
副会長	<p>それでは議事に入ります。「丹波市スポーツ推進計画（素案） ①第1章～第3章の修正について」アルパックの方からご説明をお願いします。</p>
アルパック	<p>（内容説明）</p>
副会長	<p>それでは質疑に入ります。修正に関して質問等ありましたらお願いします。</p>
〇〇委員	<p>施設一覧の「丹波インドアテニスカレッジ」の施設内容については、「屋内テニスコート」とする方がよいと思います。</p>
〇〇委員	<p>同じく施設一覧の「TAKパラグライダースクール」についてですが、市の施設である青垣のパラグライダー練習場を使用しており、練習場は所有していませんので、施設一覧に入れるのは不適當ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>TAKパラダイススクールは青垣のパラグライダー練習場の利用団体ということで、施設の一覧から削除いたします。</p>
〇〇委員	<p>「スカイスportsアイランド市島」は民間の団体でしょうか。</p>
事務局	<p>支所の確認をしたところでは、民間とお聞きしています。</p>
〇〇委員	<p>スカイスportsアイランド市島はスカイスports関係のエリアを管理している団体です。この一覧が、管理している団体という位置づけであれば、TAKパラダイススクールも一覧に入るのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>スカイスportsアイランド市島とTAKパラダイススクールは、同種の団体なので、一覧に入れる、入れないは統一すべきというご指摘を受けましたので、詳細を確認し、次回ご報告いたします。</p>
会長	<p>15ページの中段の「知らせる」という言葉が軽いように感じますので、できるだけ多くの人に知ってもらおうという意味で、「周知」という言葉を使った方がよいと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘通り修正いたします。</p>
〇〇委員	<p>ここに載せていないスポーツ組織というのではないのでしょうか。</p>

副会長	今回はスポーツ推進計画（素案）の中身の議論ということで、そのご意見は後日とさせていただきます。
〇〇委員	少年少女スポーツ団体連絡協議会の「会員数の推移」の表がありますが、現状の数のみとなっており、推移の表となっていない、合計欄も必要でないでしょうか。
〇〇委員	この表の数値は、何を視点としているのでしょうか。
事務局	「会員数の現状」と、表のタイトルを修正いたします。この表は、毎年、少年少女スポーツ団体連絡協議会に加入している団体の合計、その人数の合計を取っており、その数を表記しています、合計欄は追加いたします。
会長	「⑤主な民間のスポーツ施設の概要」と見出しを書いています、が、「⑤公共及び民間のスポーツ施設の概要」とすべきではないでしょうか。
事務局	「主なスポーツ施設の概要」とし、「民間」を削除いたします。
〇〇委員	内容についても、公共の施設の概要も入れるという理解で間違いはないでしょうか。
事務局	内容についても、見出しと合わせて修正いたします。
森田先生	表の位置がわかりにくい、ため、誤解を招いているのだと思います。「①スポーツ施設の概要」と、公共のスポーツ施設一覧が対応しています。そのことがわかるように、修正すればよいのではないのでしょうか。
アルパック	対応する文章と図が並びでくるように、図の位置を改めたいと思います。
森田先生	「2. 計画の構成」で書いている2章・3章のタイトルと、実際の章のタイトルが異なっていますので、整合をお願いします。
副会長	「か所」や「取り組み」という言葉がいくつか出ていますが、書き方が異なっていますので、整合をとるようにお願いします。
副会長	「丹波市スポーツ推進計画（素案） ②第4章～第5章の概要について」アルパックの方からご説明をお願いします。
アルパック	(内容説明)
副会長	それでは質疑に入ります。質問等ありましたらお願いします

〇〇委員	<p>27ページの「⑧障がいのある人のスポーツ機会の拡大」を、「⑧障がいのある人のスポーツへの機会の拡大」とした方がよいと思います。</p> <p>31ページの「⑪地域スポーツとトップスポーツ等の連携・協働の推進」の施策の例で「スポーツ協会（仮称）の設立による産・官・学一体となったスポーツ推進の促進」とあり、「産・官・学」と省略した書き方をしていますが、わかりやすくした方がよいのではないのでしょうか。</p>
〇〇委員	<p>30ページの⑧の見出しについても修正するという解釈でよろしいのでしょうか。31ページの「⑪地域スポーツとトップスポーツ等の連携・協働の推進」の見出しについては、書いている内容とは合っているのですが、「トップスポーツ」という表記に違和感があります。</p>
事務局	<p>まず、27ページの「⑧障がいのある人のスポーツ機会の拡大」を「⑧障がいのある人のスポーツへの機会の拡大」と修正することに関しましては、検討し、内容が変わらないようであれば修正いたします。</p>
アルパック	<p>「トップスポーツ」が一般的に流通している言葉なのか、ということでしょうか。</p>
〇〇委員	<p>「競技スポーツ」でよいのではないのでしょうか。地域には体育協会があり、競技スポーツをしている人がいますので、いきなり「トップスポーツ」をしている人、としなくてもよいのではないのでしょうか。</p>
アルパック	<p>理解いたしました。</p>
〇〇委員	<p>「産・官・学」の表記をわかりやすくしてほしいという意味ではありません。説明があれば、それでよいと思います。</p>
〇〇委員	<p>25ページの「基本施策3 障がいのある人のスポーツ推進」の中身で、「ユニバーサルスポーツ（障がい者スポーツ）」と記述していますが、ユニバーサルスポーツ＝障がい者スポーツという解釈なのではないのでしょうか。全体を通して、「ユニバーサルスポーツ」と「障がい者スポーツ」という言葉がいくつか出ていますが、語句の整理が必要かと思えます。</p>
アルパック	<p>「障がい者スポーツ」より「ユニバーサルスポーツ」の方が、概念的には広くなりますので、一般的に理解されているのであれば、「ユニバーサルスポーツ」の表記で揃えたいと思いますが、どのようにすれば一番伝わるのか、ご意見いただけたらと思います。</p>
〇〇委員	<p>ユニバーサルスポーツの本来の意味は、全ての人を対象としたスポーツということだと思います。基本施策3の中身をみると、ユニバーサルスポーツを広めていきたいという趣旨だと思うのですが、いかがでしょうか。</p>

〇〇委員	最初に「障がい者スポーツを含むユニバーサルスポーツ」と断りを入れるのはいかがでしょうか。
アルパック	その方向で検討したいと思います。
副会長	「障がい者スポーツ」と表記が必要なところもあるかと思いますので、検討いただきたいと思います。
〇〇委員	24ページの「基本施策1 子どものスポーツ推進」について、28ページの施策項目では、「体を動かす楽しさを」というように「楽しさ」を表記していますので、基本施策1においても、「外遊びやスポーツを楽しく行う」というように「楽しく」を入れると、イメージが湧きやすいのではないのでしょうか。
森田先生	<p>関連して24ページについて、「忍耐力の習得」という語句には違和感があります。「忍耐」という言葉は、スポーツでは使わない傾向になってきていますので、「継続する心」や「頑張る心」という言葉に変えるなど、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>もう1点ですが、28ページの「②学校の体育に関する活動の充実」についてですが、今の表現は全体の表現に合っていないので、「丹波の教育元気プラン ～丹波市教育振興基本計画後期基本計画～」の文言に則って進めます」とする方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>「⑧障がいのある人のスポーツ機会の拡大」と「⑨障がいのある人のスポーツへの理解向上」の関係性について、私の理解ですが、まずは、障がいのある人のスポーツへの機会を保証して増やしていきましょう、というのが⑧で、それを促進するためにも、地域の皆さんがユニバーサルスポーツの理解を持ちましょう、というのが⑨かと思います。そう理解し、⑨を「ユニバーサルスポーツへの理解向上」とすると、以下の文章とも対応でき、よいと思います。</p>
〇〇委員	24ページについて、「忍耐力」ではなく、「向上心」とするのはいかがでしょうか。
〇〇委員	幼少期についての記述という理解をすると、「頑張る心」という優しい言葉を使うとよいと思います。
会長	いろいろ意見が出ていますが、施策の中身をどの人たちを中心に知ってほしいかということを念頭におき、検討お願いいたします。
〇〇委員	⑨については、森田先生のおっしゃっている通りがよいと思います。
副会長	それでは⑨は「ユニバーサルスポーツへの理解向上」で決定したいと思います。

〇〇委員	27ページも同様に修正お願いいたします。
〇〇委員	第5章の「憲法」という表現ですが、スポーツの計画ですので、「背骨」や「体幹」という体に関わる言葉の方がよいと思いますが、皆さんのご意見はいかがでしょうか。
会長	「憲法」という言葉はなじみにくいと思います。これを中心とし、これはぶれないという意味の言葉を考えていただけたらと思います。
副会長	次回よい表現をお願いいたします。
副会長	24ページ基本施策1の中身についてですが、「少子化に伴う所属生徒数の減少等」という言葉の前に、説明が必要ではないでしょうか。「生徒」は、どこまでを想定しているのでしょうか。
事務局	「生徒」は、中学・高校となります。
副会長	「児童」が小学校で、「生徒」が中学・高校だということをご存知ではない人が多いと思いますので、説明がないとわかりにくいと思います。
事務局	説明を入れる方向で検討いたします。
〇〇委員	31ページの「⑩競技スポーツの推進」の「勝利至上主義」という言葉が好きではありません。もう少し柔らかい表現に変える方がよいと思います。
〇〇委員	「勝敗にこだわりすぎて」とするのはいかがでしょうか。
副会長	そういった言葉使いにしていきたいと思います。
〇〇委員	28ページの「①幼児期からの子どものスポーツ機会の拡大と体力向上方策の推進」について、先程も意見が出ていたように、「スポーツへの機会」という言葉にする方がよいと思います。
副会長	文言は統一する方向でお願いいたします。
〇〇委員	この計画の推進方策が5章にまとめられており、これをみると、PDCAサイクルで、随時進捗状況を確認しながら進めていこうということになっているのだと思いますが、本計画では殊更数値目標を挙げていないなかで、何を達成の目安とするのでしょうか。 1つは数値目標として、週に1回以上スポーツする人を50%以上にするのを掲げていますが、他に数値目標を掲げるべきところはないのでしょうか。例えば、障がい者スポーツで言うと、障がいのある人が週に1回以上スポーツを行う割合は、文部科学省の平成25年の調査では、丹波市で約17%であり、全国的に低い値にあります。基本的なデ

	<p>一タがない中で、どれ程増えたかをみるのは難しいと思います。アンケートにその調査項目がなかったのも、数値設定は難しいと思いますが、提案として、今後取り組んでいく施策の中に、調査事業を入れるのはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>成果指標として設定すべき指標として考えられるのは、他にもたくさんあるかと思えます。また、アウトカムの成果指標だけでなく、アウトプットの指標も考えられます。丹波市では、スポーツ推進計画の最終的な成果指標として、週に1回以上スポーツする人を50%以上、としています。ご指摘いただいた施策の進捗管理については、それぞれが行う事務事業評価や施策評価のなかで、必要となる指標を設定し、進捗管理し、それを活用していきたいと思えます。あえてここは全体の指標を設定しているということで、ご理解いただきたいと思えます。</p>
〇〇委員	<p>目標の50%にどれだけ近づいていけるかということが、重要だと思います。健康ポイント制度という制度をとっている市があり、その市では、ポイントをためると商品券をもらえるようになっていました。スポーツをすることによって、ポイントをためるといいことがある、という流れがあると、乗っかってくる人もいるのではないのでしょうか。例えば、健康グッズをもらえたり、健診を無料で受けられたりするのはいかがでしょうか。スポーツを行う人がどれだけ増えたか、ということ推測する目安になるかもしれないと思えました。</p>
事務局	<p>この6月の議会の一般質問の中にも、そういったご意見が出ていました。現在、健康部を通じて検討を進めています。目標を立てて、それに向かって有効に進めていくために、我々が事業に落とし込み、取り組んでいくことになるかと思えます。</p> <p>健康ポイント制度は、健康部だけが取り組むのではなく、生涯学習と連携して進めていけたらと思えます。既に我々は、生涯学習の分野におきましては、「まなびすと」カードといった、生涯学習の様々な取り組みをすると、ポイントがたまり、丹波市が行うホールのイベント事業の割引を使える、という仕組みを取り入れています。これも参考として、健康部と連携しながら、今後検討していくことになると思えます。</p>
保健師	<p>健康ポイント制度は、いろいろな自治体で取り組まれているのですが、運動だけではなく、健康づくりにまつわることにポイントを付加する制度を作り、丹波市でも、今年からモデル的に、2カ年にかけて実施していくことを考えています。そこで試行してみようと考えています。将来的には、市民の皆さんの様々な健康づくりの背中をおせるような方策を考えていきたいと思っていますので、健康部としましても、生涯学習と連携しながら、この制度を考えていきたいと思えます。</p>
〇〇委員	<p>一番重要なのは、目に見えた成果であり、どれだけスポーツをする人を増やせるかということになると思えます。私の仕事は、施策の「⑫スポーツツーリズム等の交流の推進」に関わってきます。スポーツで集客することで、どれだけ地域を活性化させること</p>



	<p>ができるかということテーマに置いてありますので、今後の観光による活性化について、皆さんがどういうことを考えているかお聞きしたいと思っています。観光協会の委員に、観光協会としてどういうことを考えているか、参考にお聞かせいただけないでしょうか。</p>
〇〇委員	<p>丹波市は広い市ですが、何らかの動機をつけて丹波市を巡ってもらうことを我々はテーマに置いてあります。現在、春の花めぐりと秋の紅葉めぐり、丹波の味めぐりの3本柱があり、取り組んでいます。スポーツをしに丹波市に来た人に、丹波市を巡ってもらえる流れができるとよいと思います。もみじマラソンが人気で、4000人近い人が訪れますが、紅葉めぐりや観光もしようという人は少ないのが現状です。丹波市に来るとこういういいことがある、ということを知らしめることは、何回も来て、初めて知っていただけることだと思います。観光協会だけがPRするのではなく、一緒になって言ってくれる市民の方を増やすことが、現在の使命だと思っています。</p>
〇〇委員	<p>正直、丹波市が何を押ししていきたいのか私自身わかっておりませんが、地域全体が盛り上がっていきけるような体制ができればと思います。</p>
〇〇委員	<p>ツーリズムは大事な問題だと思います。国体の際に、軟式の高校野球の大会を春日球場で開催しましたが、人が来ても泊まる宿泊先がありません。場所がない、宿泊施設がない、となると、どのようにツーリズムを進めていくのでしょうか。幅広い分野の方と手を組まないといけないと思います。</p>
森田先生	<p>皆さんに指摘いただき、分かりやすくなってきたのではないのでしょうか。</p> <p>丹波市のオリジナルの部分は、33ページの「スポーツ推進のイメージ図」だと思います。これは、生涯学習の考え方を大事にし、スポーツにおいても同じ考え方で良い循環を作っていこうということを表現しています。まずは、個人として楽しく運動に関わり、そしてそのことが、スポーツを「する」だけではなく「ささえる」ことにつながり、更に地域につながっていけばいいということだと思います。</p> <p>「スポーツのまちをつくる」とありますが、情報を市民がどれだけ知っているのか、外に誇れることがどれくらいあるのか、という掘り起こしが、具体的に計画を作っていく段階で必要になってくると思いました。</p> <p><b>【閉会】</b></p>
副会長	<p>次回の審議会の日程ですが、8月19日(水)19時30分から、春日住民センター大会議室で開催したいと思います。</p> <p>それでは、第2回丹波市スポーツ推進審議会を終わりたいと思います。本日は有難うございました。</p>